

鹿児島県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）プログラム 1日目

2月18日（月）	講義名	内 容	講 師（敬称略）
8:30	受付		
8:45	開講にあたって	注意事項等	
講義① 0.5H 9:00-9:30	プロローグ ～強度行動障害のある人について の基本的な理解～	強度行動障害とは 行動障害のある人への支援のこれまで 行動障害のある人が困っていること 行動障害への挑戦の意義と必要性	肥後祥治 (鹿児島大学)
講義② 0.5H 9:30-10:00	支援についての基本的なこと ～支援のプロセス～	支援の基本的枠組み サービス等利用計画について～支援の基本的プロセス～ 個別支援計画と支援手順書について 行動障害のある人の意思決定支援 記録と情報共有	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
10:00-10:15	休憩		
演習① 1.0H 10:15-11:15	私たちが困っていること ～感覚の違いを体験しよう～	感覚・知覚の特異性と障害特性 演習「作業（視覚的な手がかりがない場合、ある場合）」 演習「作業（軍手をはめて）」 演習「騒がしい環境での聞き取り」 演習「狭い視野での活動」	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
演習② 1.0H 11:15-12:15	わかりにくいんです ～伝わりにくさを体験しよう ～	コミュニケーションの理解と表出 演習「意味の分からない言葉での指示」 演習「視覚と聴覚で違う情報」 演習「分かりにくい提示」 グループ討議／まとめ	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
12:15-13:15	昼休み		
講義③ 1.0H 13:15-14:15	私たちのことを知ってほしい ～強度行動障害に関係する障害 について～	自閉スペクトラム症について 知的能力障害／精神障害について	山根和史 (北摂杉の子会)
講義④ 1.0H 14:15-15:15	医療と一緒に ～福祉と医療の連携～	行動障害と医学的な診断 行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携	吉田 巖 (中央児童相談所)
15:15-15:30	休憩		
演習③ 0.5H 15:30-16:00	知ることから始めよう ～根拠を持って支援する～	演習「アセスメント」 アセスメントとは 情報の入手とその方法	大友愛美 (こころりんく東川)
演習④ 1.5H 16:00-17:30	本当の理由を考えよう ～冰山モデルで考える～	演習「冰山モデル」 行動障害を理解する冰山モデル グループ討議／まとめ	大友愛美 (こころりんく東川)

鹿児島県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）プログラム 2日目

2月19日（火）	講義名	内 容	講 師（敬称略）
9:00	受付		
演習⑤ 1. 5 H 9:15-10:45	本人にわかりやすい環境と活動 ～支援手順書を使って～	様々なコミュニケーション方法 演習「整えられた環境での活動」	山根和史 (北摂杉の子会)
10:45-11:00	休憩		
演習⑥ 0. 5 H 11:00-11:30	お互いに共有しよう ～記録と情報共有～	記録とそのまとめ方と情報共有 演習「記録と情報共有」	山根和史 (北摂杉の子会)
11:30-12:30	昼休み		
講義⑦ 1. 0 H 12:30-13:30	ボクラと世界のつながり方 ～環境を整えることの大切さ～	構造化の基本と手法	山根和史 (北摂杉の子会)
講義⑧ 0. 5 H 13:30-14:00	支える仕組み ～制度理解のヒント～	行動障害のある人を支える制度	上籠洋平 (鹿児島県障害福祉課)
講義⑨ 0. 5 H 14:00-14:30	そのとき、あなたはどうしますか ～障害者虐待、身体拘束、行動制限の防止は支援の向上から～	障害者虐待防止法とは 行動障害と虐待	中江智次 (鹿児島市障害福祉課)
14:30-14:45	休憩		
講義⑩ 1. 0 H 14:45-15:45	支援の現場から ～実践報告～	児童期における支援の実際 成人期における支援の実際	徳永洋介 (常盤会) 塩満 創 (ゆうかり)
講義⑪ 1. 0 H 15:45-16:45	ひとりで悩まないで ～支援者ケアの大切さ～	福祉の仕事と感情労働 支援者ケアと虐待防止 支援者をケアする方法	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
17:00	修了証交付		

※プログラム（各講義・演習）の講師ならびに、開始、終了時間については、スケジュールの都合上変更する場合がございますので、ご了承ください。